

一般会計 補正予算

令和4年第5回定例会には、予算関連議案として、一般会計3件、病院事業会計1件の補正予算が提出され、すべて原案どおり可決しました。
ここでは、補正予算の主な内容や予算決算委員会等での質疑の内容をご紹介します。

14億5,216万3千円を増額し総額577億7,837万3千円に 物価高騰の支援策 や実証事業などを計上

●企業誘致促進事業

9,800万円

内容 国のテレワーク交付金を活用し、シェアオフィス開設支援や企業誘致プロモーション、サテライトオフィスを設置した企業への進出支援金など本市でのデジタル産業による雇用の創出を図る。

質疑

問 シェアオフィスの場所はどこを予定しているか。

答 生活の利便性の観点から市街地にある銀天街を中心とした半径5キロ圏内を想定している。

問 進出企業が数年で撤退した場合の支援金の取扱いはどうなるのか。

答 少なくとも10年は継続していただくことを想定している。途中で撤退する場合は全額または半額を返還とするなど、国の基準に準じたルールを設定し、公募を行う。



●西平椿公園カメラハウス搾油機を更新

1,140万円

内容 西平椿公園カメラハウスの搾油機が経年劣化によって稼働できなくなったため、椿油の加工用搾油機等の設備を更新する。

質疑

問 設備更新による椿油の品質への影響はあるか。

答 更新後の設備は現在の搾油機と同等以上のものを予定しており、20%増の作業力と生産力を兼ね備えている。

問 椿油の使用方法やPR方法は。

答 食用や髪髪用、刃物の手入れなど。今年度から新たに、ネット通販での取扱いについて調整が行われている。



●プレミアム付商品券を発行

5億4,447万3千円

内容 コロナ禍で直面する物価高騰に対する市民生活支援策等として、本市独自のプレミアム付商品券を発行する。

質疑

問 プレミアム付商品券の発行方式は、紙または電子であるが、その比率はどのくらいを想定しているか。

答 現在、電子決済アプリ天草のさりーの登録状況は約26%であり、紙の利用率を80%、電子の利用率を20%と想定している。

問 利用できる店舗は。

答 今回の事業は、物価高による市民の生活支援が目的であり、登録店舗での利用が可能となる。共通券と地域限定券を組み合わせしており、地域の店舗を利用いただく機会も増やしたい。

【利用期間】 令和4年8月1日～令和5年1月31日

▶市のホームページで詳細が確認できます。



病院事業会計補正予算

●市立4病院で電子カルテ導入へ

感染対策補助金収入

3億4,352万5千円

電子カルテ導入支援経費

1,532万6千円

天草市立4病院及び御所浦診療所では、新型コロナウイルス感染症対応として、ワクチン接種、検査、受入れ病床の確保、宿泊施設への看護師派遣等を行っている。

病床確保に係る補助金が令和4年9月まで延長されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症受入れ病床確保による一般病床入院収益減少や感染対策に係る補助金について補正。

また、市立4病院のカルテについて、令和5年度末の電子カルテ導入に向け、導入支援に係る経費などについて補正を行う。



●コミュニティセンターを整備

1,498万9千円

内容 国の社会資本整備総合交付金を活用し、本渡南地区コミュニティセンター講堂のつり天井（特定天井）を直天井へ改修する。

質疑

問 同様の天井の施設は、ほかにもあるのか。

答 志柿地区、小宮地地区、深海地区のコミュニティセンターがつり天井（特定天井）となっている。これらの施設については、令和5年度に改修を計画している。

問 利用が多い施設と思うが、工期はいつを予定しているか。

答 コミュニティセンターの管理をしている地区振興会と協議をし、秋ごろから4か月程度の工期で改修したい。



●事前予約制乗合タクシー 実証運行

536万8千円

内容 AI技術を活用した地域交通の実証事業として、栖本町全域にて8月から10月までの3か月間、予約配車システムを活用した事前予約制乗合タクシーの実証運行を行う。

質疑

問 利用者の負担はあるのか。

答 実証運行期間は無料で利用できる。

問 実証期間終了後は、どのように考えているのか。

答 移動の手段、利用時間、料金及び課題などについてアンケートを実施し、検証を行い、本格運行についても検討する。



●保育園留学を受け入れ、 移住生活を体験

198万円

内容 のびのびと子育てができる環境を求めている都市部の子育て世代をターゲットに、一時的に天草市で子育てを行うファミリーワーケーションを受け入れ、関係人口のつながりを創出する。

質疑

問 都市部とは、どこを想定しているのか。

答 東京や大阪などを想定しているが、希望があればその他の地域も受け入れる。

問 より成果を上げるためには、関係部署が連携して支援する体制が必要ではないか。

答 実施に当たっては市内保育園をはじめ、関係部署と連携を図っていく。本市の魅力を深く知っていただき、関わりを持つことで移住につながるよう努めたい。

